

神戸

こんどは わたしたちから 「激震地—灘六甲道」(阪神淡路大震災)より

「灘・原水協」発

No.1 2011. 1. 23

(水)

神戸市灘区深田町3-5-1

灘民主商工会気付け

東日本大震災 救援募金 10,058円

痛ましい犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

そして、被災者のみなさんに心からお見舞い申し上げます。

3月19日(土) 午後に約1時間、救援募金活動に水道筋商店街に立ちました。さまざまな事情で2人(私と大先輩)での活動となってしまいました。最初は私たちの人数が少ないので「どないしよう」「不審な団体に誤解されないやろか」など不安な思いのまま、オズオズはじめました。はじめの30分ほどは私たちの心理が微妙に伝わるのでしょうか、あまり芳しくありませんでしたが、小学生、中学生が応えてくれると本当にうれしく、それからは多くの市民の方々よりお気持ちをお預かりすることができました。

今、神戸市内ではすべての駅頭で若者たち、とくに高校生、中学生が募金箱を持って呼びかけているといっても過言ではありません。近所の中学校でも朝から校門で生徒有志が募金箱を持っています。

神戸の時

私自身も被災し、実家は全壊、親族の従妹2人(その子は3歳児)犠牲となりました。0歳児は救出されましたが、震災遺児。あしなが育英会はじめ多くの皆様のご支援により今、高校生になってます。神戸のみんなが多くの人に助けられました。

また、地元、神戸大学の前途有望な学生さん39名が犠牲となりました。

こんどは、神戸からエールを送りたい。

体勢がととのえば、きっとたくさんの若者たち、学生を先頭につけていきます。

当会もがんばります。

小学生、中学生からもたくさんお寄せいただきました。

10数円、50円、100円・
・本当にうれしく、感激のあまりお礼のことばが涙声になってしまいました。

この発信は、「灘・原水協」事務局長が発信しております。お便りはメールで。

nadagensuikyoku@yahoo.co.jp

当会のホームページ、青年が受信します。

事務局長 管 政 裕

携帯 080-4237-6969

「灘・原水協」は2003年に再々建し、毎月会議(約10人)、毎月2回の6・9を継続、署名は1回平均約70-80筆、募金千円-2千円で